

整理番号
28

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	伊達市次世代自動車導入促進事業				担当課	生活環境課		
業務名	-				担当係	環境係		
基本目標	1	安全・安心できれいなまち			計画期間	令和6年度～令和8年度		
施策項目	4	環境保全			事業区分	補助		
主な取組	1	地球温暖化対策の推進			-	-		
予算科目	会計	款	項	目	大事業			
	1	2	1	8	低炭素まちづくり推進事業			

目的と方針【PLAN】
内外に誇りうる環境共生のまちづくり、カーボンニュートラルの実現・脱炭素社会の形成を進めるため、身近な自然環境から地球環境までを視野に入れた環境保全施策を積極的に推進します。

事業概要【PLAN】
走行時に温室効果ガスを排出しない次世代自動車の普及を促進することで、低炭素型のまちづくりを推進します。

対象【PLAN】	市民	意図【PLAN】	燃料電池自動車及び電気自動車の普及促進及び、地球温暖化対策の推進。
-----------------	----	-----------------	-----------------------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
環境意識を高める。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	0	950	650	2,900		
	事業費合計	千円	0	950	650	2,900		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
再生可能及びクリーンエネルギー機器、次世代自動車の導入にかかる補助金の交付件数	件	実績値が目標値以上となること	目標値	105	105	105	105	
			実績値	19	13			
			達成率	18.1%	12.4%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	国内外で脱炭素に向けた動きが加速しており、社会的な需要は高まっているため、優先度は高い。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	市民の金銭的な負担を減らし、環境意識醸成へのきっかけになる。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	受付チェック表を作成し、効率的に事務手続きができるよう事業を行った。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	申請件数は伸び悩んだ。令和5年度から始まった事業であるため、広報にも力を入れるなど、工夫、改善しながら事業を進めていきたい。
--------	----	-------------------------	----------------------------------------------------------------

整理番号
29

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	再生可能エネルギー推進事業				担当課	生活環境課		
業務名	-				担当係	環境係		
基本目標	1	安全・安心できれいなまち			計画期間	令和6年度～令和8年度		
施策項目	4	環境保全			事業区分	補助		
主な取組	1	地球温暖化対策の推進			-	-		
予算科目	会計	款	項	目	大事業			
	1	2	1	8	再生可能エネルギー推進事業			

目的と方針【PLAN】
内外に誇りうる環境共生のまちづくり、カーボンニュートラルの実現・脱炭素社会の形成を進めるため、身近な自然環境から地球環境までを視野に入れた環境保全施策を積極的に推進します。

事業概要【PLAN】
地球温暖化防止対策の一つとして、市民への再生可能エネルギーの普及を積極的に支援することにより、地球環境の負荷軽減を図ります。

対象【PLAN】	市民	意図【PLAN】	市民が消費するエネルギーをなるべく再生可能エネルギーとすることで二酸化炭素の排出を抑える。
-----------------	----	-----------------	-----------------------------------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
市民の環境意識の醸成を図ること。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	1,600	2,034	2,900	2,950		
	事業費合計	千円	1,600	2,034	2,900	2,950		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
再生可能及びクリーンエネルギー機器、次世代自動車の導入にかかる補助金の交付件数	件	実績値が目標値以上となること	目標値	37	37	37	37	37
			実績値	26	37			
			達成率	70.3%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	蓄電池システムについては、年内で予算の上限に達しているため、優先度は高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	補助金の交付により、市民の金銭的な負担を減らし再生可能エネルギーに関心を向けるきっかけとなる。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	受付チェック表を活用し、効率的に業務を行った。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	蓄電池システム・電気自動車充電設備（V2H）について目標値を達成できたため、今後も制度周知に力を入れていきたい。
--------	----	-------------------------	----------------------------------------------------------

整理番号
30

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	生活環境対策事業			担当課	生活環境課
業務名	-			担当係	環境係
基本目標	1	安全・安心できれいなまち		計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	4	環境保全		事業区分	一部委託
主な取組	2	公害等環境問題への適正な対応		-	-
予算科目	会計	款	項	大事業	
	一般	4	1	生活環境対策事業(環境保全)	

目的と方針【PLAN】
内外に誇りうる環境共生のまちづくり、カーボンニュートラルの実現・脱炭素社会の形成を進めるため、身近な自然環境から地球環境までを視野に入れた環境保全施策を積極的に推進します。

事業概要【PLAN】
臭気指数調査や河川水質調査を実施し市の環境状況を確認するとともに、騒音規制法、振動規制法、県生活環境の保全等に関する条例等に基づく届け出受理事務等を行います。

対象【PLAN】	市民	意図【PLAN】	市民からの環境問題に係る問い合わせについて、関係法令に基づく解決を図る。
-----------------	----	-----------------	--------------------------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
市民からの問い合わせに対して、助言・指導などの必要な措置を実施できる体制を維持する。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	80	80	80	80		
	一般財源	千円	3,753	4,743	5,519	9,387		
	事業費合計	千円	3,833	4,823	5,599	9,467		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
公害苦情件数	件	実績値が目標値以下となること	目標値	18	16	14	12	10
			実績値	2	2			
			達成率	100.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	環境問題に関する問い合わせは常時発生しており、優先度は高い。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	市民からの問い合わせに直接対応する業務であり、貢献度は高い。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	早急な現場確認や他機関との連携により、業務の効率化に努めた。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	環境問題に係る問い合わせは多様になっているため、それぞれに適した対応を確立していく必要がある。
--------	----	-------------------------	-------------------------------------------------

整理番号
31

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	河川維持管理事業				担当課	維持管理課
業務名	-				担当係	管理調整係
基本目標	1	安全・安心できれいなまち			計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	4	環境保全			事業区分	一部委託
主な取組	3	環境保全意識の高揚と市民との協働による実践活動の推進			-	-
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	8	3	2	河川維持管理費	

目的と方針【PLAN】
内外に誇りうる環境共生のまちづくり、カーボンニュートラルの実現・脱炭素社会の形成を進めるため、身近な自然環境から地球環境までを視野に入れた環境保全施策を積極的に推進します。

事業概要【PLAN】
河川堤防の除草等を実施し、河川環境及び自然環境の保全を図ります。

対象【PLAN】	市民	意図【PLAN】	クリーンアップ作戦による河川環境保全の実施
-----------------	----	-----------------	-----------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
クリーンアップ作戦を周知し、市民へ参加を呼びかける。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	706	693		
	都道府県支出金	千円	149	216	1,461	1,700		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	1	1,501		
	一般財源	千円	2,108	5,281	1,406	536		
	事業費合計	千円	2,257	5,497	3,574	4,430		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
河川クリーンアップ作戦	回	実績値が目標値以上となること	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1			
			達成率	100.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	市民の住環境改善に河川環境の保全は必要であり、市民自ら除草作業を実施することにより、環境美化への意識高揚が図られる。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	除草作業により地域の住環境の改善が図られている。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	クリーンアップ作戦は市民のボランティア作業であり、時間削減や規模縮小対象とはならない。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	高齢化等により、クリーンアップ作戦参加人数が減少傾向にあるため、多くの市民参加が行われるよう広報等に努めたい。
--------	----	-------------------------	---------------------------------------------------------

整理番号
33

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	環境施策推進事業				担当課	生活環境課		
業務名	-				担当係	環境係		
基本目標	1	安全・安心できれいなまち			計画期間	令和6年度～令和8年度		
施策項目	4	環境保全			事業区分	直営		
主な取組	3	環境保全意識の高揚と市民との協働による実践活動の推進			-	-		
予算科目	会計	款	項	目	大事業			
	1	4	1	4	環境施策推進事業			

目的と方針【PLAN】
内外に誇りうる環境共生のまちづくり、カーボンニュートラルの実現・脱炭素社会の形成を進めるため、身近な自然環境から地球環境までを視野に入れた環境保全施策を積極的に推進します。

事業概要【PLAN】
伊達市環境基本条例に基づき策定した環境基本計画に定める各種施策の進行管理及び計画の改定を行います。

対象【PLAN】	市民、事業者及び滞在者	意図【PLAN】	伊達市環境基本条例に掲げる基本理念の具現化
-----------------	-------------	-----------------	-----------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
第2次伊達市環境基本計画に定める各種施策の実施及び評価

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
	都道府県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	84	0	4,425			
	事業費合計	千円	84	0	4,425			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
伊達市環境基本計画推進会議の開催	回	実績値が目標値以上となること	目標値	1	2	2	2	2
			実績値	0	1			
			達成率	0.0%	50.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	複雑・多様化した環境問題の解決のために、社会全体で環境保全に取り組むことが求められている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	第2次伊達市環境基本計画に掲げる各種施策を着実に推進することで、市民等の地球環境保全に対する理解を深めることができる。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	環境基本計画において、新たな課題や社会情勢の変化に対応するため、市民の環境保全活動の取り組み方針や地球温暖化対策を取り込むなど、環境行政を効率的に推進している。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	統合	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	事業が類似する「生活環境対策事業」と令和7年度から統合すべきと判断した。
--------	----	-------------------------	--------------------------------------

整理番号
34

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	動物愛護推進事業				担当課	生活環境課
業務名	-				担当係	環境係
基本目標	1	安全・安心できれいなまち			計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	4	環境保全			事業区分	一部委託
主な取組	4	動物の愛護及び適正飼養の促進			-	-
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	4	1	4	動物愛護推進事業	

目的と方針【PLAN】
環境負荷の少ない持続可能な循環型社会の実現に向け、広域的な連携のもと、ごみの減量化・資源化に努めます。

事業概要【PLAN】
狂犬病予防法に基づく犬の登録及び狂犬病予防注射の実施、及び動物愛護関連法令に基づいた犬と猫の適正飼養の推進を図ります。

対象【PLAN】	市民	意図【PLAN】	快適な生活環境の確保及び動物愛護思想の普及。
-----------------	----	-----------------	------------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
狂犬病予防注射実施率の増加。犬猫の適正飼養の啓発。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	320	365	828	690		
	一般財源	千円	0	0	0	135		
	事業費合計	千円	320	365	828	825		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
飼い主のいない猫の不妊去勢手術費助成件数	件	実績値が目標値以上となること	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	20	91			
			達成率	20.0%	91.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	野良猫等に関する苦情、相談は常に一定数ある。快適な生活環境を維持するためにも優先度は高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	野良猫の不妊去勢手術費を補助することで、糞尿被害など減らすことができるため、快適な生活環境を維持することができる。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	犬の死亡届や市内での住所変更をオンラインで手続きするなど、効率化の継続を図った。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	動物愛護に対する関心の高まりと啓発・周知の継続により、不妊去勢手術件数がほぼ目標達成できた。この取り組みを継続することで、動物愛護推進に努めていきたい。
--------	----	-------------------------	------------------------------------------------------------------------------